

海夫通信 第43号

【海夫】潮の香りをほのかに残すここ霞ヶ浦にもかつては多くの海の民がいた。海に寄り添い、潮の流れとともに暮らしていた人たちに思いを寄せて、今生きる霞ヶ浦の海夫たらんとす。

NPO法人霞ヶ浦アカデミー会報

CONTENTS

【特集】 葦舟世界大会

【コラム】 牧野富太郎先生について



葦舟世界大会 「ウナギ杯」を競う



最多6チームが参加

当会および行方カヌークラブが主催して『ニホンウナギ杯争奪！第3回霞ヶ浦葦舟世界大会』が2023年3月18日(土)および19日(日)に開催した。この大会は、自らアシを刈り、そのアシで自ら葦舟を作り、その葦舟を自ら漕いで、その性能を競う大会。大会実施により、アシ原を整備しながら、湖とつながる人を増やすことを目的にしている。今回、県内からの参加にとどまらず、遠くは岐阜県からの参加もあった。参加チーム数は6チームとなり、大会史上最もレベルの高いレース展開となった。

大会初日は「雨の中の葦刈り」

大会初日の18日は悪天候に見舞われた。各チームは雨の中、葦に必要な「葦」を刈り取った。中には大会初日は出席せず、2日目早朝から葦の刈取りを行うチームもあった。

山田証によるプチコンサートも!!



▲山田証氏もレースに参加した

大会初日には、森のシンガーソングライター「山田証氏」によるプチコンサートも行われました。アラスカを旅した話も交えながら自然の大切さを学ぶ歌会になりました。

第3回霞ヶ浦葦舟世界大会 6チームが「ニホン」



個性あふれる舟が作られる

大会2日目は舟の組み立てからスタート。それぞれがアドバイスを受けながらも、独自の舟を作っていた。岐阜県から参加したフォレストメディアワークスは、4つのパーツを組み立てる独自の設計で、大きく直進性の高い舟にした。毎月、霞ヶ浦アカデミーのイベントに参加しているメンバーからなる「生き物アカデミーチームわかさぎ」はサップを模した艇に波よけをつける設計にした。

レース部門は僅差を手賀沼のチームが制す

レース部門は千葉県手賀沼から参加した「ブリ照りぐず」と小山高専OBからなる「オアシス」が僅差で競り合う展開となった。手賀沼のチームは、中学生1人が3往復漕ぎ切り、7秒差となった優勝争いを制した。

技術部門は小山高専OBのチーム

技能部門は「オアシス」が受賞した。3つのコラソンを組み合わせる形の艇を作成した。中央のコラソンは船首を大きく膨らませた形にした一方、両サイドのコラソンは船尾に向かい太くし、艇を立体的に組上げた。造船のオリジナリティのみならず、大人2人が乗っても安定していたこと、タイムレース部門でも2位のスピードも評価された。



▼技能部門を受賞したチーム「オアシス」



レース部門「ブリ照りぐず」。納豆箱ゲット

たかっぽ造りを体験！！



伝 伝統的なウナギ漁の道具「たかっぽ」の作り方を学ぶ講座を5月28日に開催しました。参加者はノコギリで竹を切り、節を抜く作業などを行いました。

「たかっぽ」はウナギが狭いところに入り休む習性を活用した漁具。竹の筒がウナギにとって隠れやすい環境になっていて、ウナギが休んでいる時に筒を引き上げることによってウナギを捕まえることができる。

6月18日には実際に魚とり挑戦。ヌマチチブ、ウキゴリ、アシシロハゼのハゼ3種類、テナガエビなどを捕まえることが出来た。



▲竹の結び方を学ぶ



今回、行方市の市報の取材がありました。7月の市報の表紙になる予定です。市内各所で配布されているのでお手に取ってみてください。また、ウェブ版でも見られます。

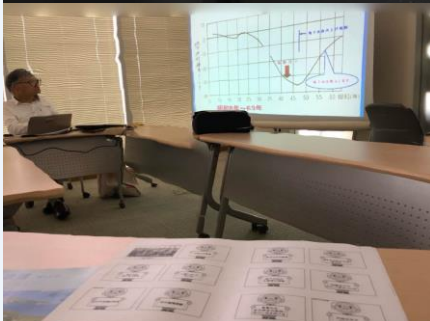
通常総会を開催しました

～記念講演は西原昇治氏「生活の中の水事情」～



霞 ケ浦アカデミーの通常総会を2023年5月28日に開催しました。

通常総会の前に西原昇治氏を招き「生活の中の水事情」をテーマにご講演していただきました。西原氏からは地下水についてや地質について、また沢田湧水池（ひたちなか市）や玉龍泉（水戸市）での活動についてなどご紹介いただきました。記念講演は以下のQRコードを読み込むとYouTubeで視聴可能です。



2023年

NPO法人霞ヶ浦アカデミー
通常総会



▲記念講演がオンデマンドで視聴可能



カヌークラブから

行方カヌークラブHP→



2023.01.08千葉県知事杯

今年も我がクラブは、千葉県知事杯争奪第41回クラブ対抗カヌー競技大会に参加してきました。

スカイツリーが見えるいい天気、わりと暖かい日の大会となりました。

400人以上が参加する大きな大会です。

なんとか、ポイントを獲得して、最下位のクラブとなることは回避できました。

来年は、もっと多くのカテゴリーに参加したいですね。



千葉県知事杯争奪 第41回クラブ対抗カヌー競技大会

松戸市 江戸川

2023年1月8日(日) 10:30 スタート

大会ホームページより

2023.05.06那珂川、県境～桂

今日の練習会は那珂川です。
曇り空を予想していましたが、晴れ間もあって暑いぐらいでした。
午前中は、流れの穏やかなところで基礎練習をしました。

午後は、川下りです。
練習にいい流れが何か所かありました。
フェリーグライドやストリームイン・アウト、サーフィンなどを楽しみました。

濡れても気にならない季節になってきます。
どんどん漕いでいきましょう。



カヌーワールドで紹介



行方カヌークラブがカヌーの専門誌「カヌーワールド vol.26」で紹介されました。6月26日発売。特集では、ウィークエンドを利用したキャンプツーリングの楽しさを、フィールドごとに実例交えて紹介している。そのほか、ビギナー必見の小特集「初心者のための漕ぎ方マニュアル」、「水辺の漕ぎ語り 冒険家・関口裕樹」、「カヌー&カヤックカタログ2023」などカヌーの魅力が満載。1,430円(税込)。



霞ヶ浦アカデミー会員
西谷篤彦

現在、NHKの朝の連続テレビ小説「らんまん」が放送されています。そのドラマの主人公のモデルの植物学者の牧野富太郎先生について、土浦の奥井薬局の奥井登美子さんが次のようなコラムを書かれています。牧野富太郎先生は世界的な植物学者ですが、茨城県ともいろいろゆかりがあった様です。

NHKの朝ドラに植物学者の牧野富太郎氏
が出現して、うれしくなりました。

牧野先生は小学校すら卒業してないのに、
東大の先生になった人と噂された人物であ
る。

「どんな方なの?? 私会って、お話してみたい
の」
「私の家の、近くだから、連れて行ってあげる
わ」

私が大学3年生の時だった。友達の案内で
予告もなしに会いに行ってしまった。焼け野
原だった戦後の東京にもこのようなひなびた
場所が残っていたのかと思われる広い庭の中
に、昔風の古民家があった。



90歳で恋人のいた牧野富太郎先生

表札もなし、玄関と庭の境目にぎゅしり
木が植えてあって、案内の人がいなければ
どこから入っているのかわからないたず
まいの家である。

「こんにちは、牧野先生いらっしやいますか
会いに参りました」

「どうぞ、お上り下さい。私が牧野です」

奥の方から女の人が飛び出してきた。

「お上り下さいなんて言っていて、、、そこは、
ネダ(根太)と畳が腐っていて、危ないのよ。
こちらから回って、入ってください」

先生は後で調べてみたら当時90歳だった
平均寿命が40歳。70歳で死ぬと長生きし
てオメデタイと言って紅白のお饅頭を出し
た時代である。老人と、あまり話をしたこ
とがない私は、先生を60歳くらいかと思っ
てしまった。

「学生さんかい?」

「薬科大学の学生で植研に入っています」

「シヨッケン食券??」

「植物研究部です。薬用植物の観察をし
ています」

「山へいくの?」

「この間は、筑波山へカタクリの花を見に
行きました。いつまでみていても飽きない
形をしていました」

話が弾んで、なぜか、とても楽しかった。

先生は自伝に「私の恋人は植物です」と
書いている。

90歳になっても、恋人のいる人は、さすが
に若くてはつらつとしていた。

奥井登美子

会 員 募 集

NPO法人霞ヶ浦アカデミーは、みなさまのご支援によ
り活動を継続できています。活動を共にしてくれる、また応
援してくれる会員を募集しています。ご協力よろしくお願
いいたします。

普通会員 入会金 1,000円

／ 年会費 3,000円

賛助会員 1口 10,000円

[入会の方法]

氏名、住所、連絡先、会員の種類をご記載の上、メールも
しくは郵送でご連絡下さい。

いいね!お願いします

facebook で

日々の活動を更新中!



海夫通信では、みなさまからの掲載する原稿・
写真を募集しています。昔の霞ヶ浦の様子や、庭
にいた珍しい生き物、お気に入りの自然スポット、
本の感想などテーマ問わず原稿をお寄せください。

日本全国の美しい水にまつわるスポットをご紹介します

水景湧水地研究所

Vol.9

〜 養老溪谷 〜

今回は千葉県でおすすめた、とっておきの溪谷をご紹介します。房総随一の温泉郷としても知られる養老溪谷（ようろうけいこく）です。

養老溪谷は、中房総エリアの大多喜町〜市原市にかけて流れる、養老川沿いに形成された溪谷。美しい清流や、大小の滝を堪能しながらハイキングをお楽しみいただけます。



エリア…千葉県夷隅郡大多喜町
湧水地…養老溪谷
アクセス…市原ICを降りて約54分

なかでも必見なのは、栗又の滝①（あわたのたき）。落差約30メートル、幅約30メートルと迫力があります。水が岩肌を滑らかに流れる様子は、いつまでも見ていたくなるほど涼し気で気持ちが良いです。栗又の滝から約2キロは自然遊歩道②が整備されているので、散策するのも大変おすすめです。

ここがイチオシ

養老溪谷は、地質学的に貴重な研究スポットでもあるそうです。令和2年1月には、世界共通で使用される地質年代に「チバニアン③」も登録されています。これは、最も新しい地磁気逆転の記録がよく残っている地層として、世界的に認められたものです。現地では古代生物の足跡などをいくつも確認することができて、興奮しました④⑤。地球の歴史に触れたい方は、心から楽しめる場所なのではないかと思います。



ライター／菊地早秋
プロフィール／
<https://kominkaiju.com/sosyu-profile/>

販 売 中

みんなで作った
オリジナルTシャツ



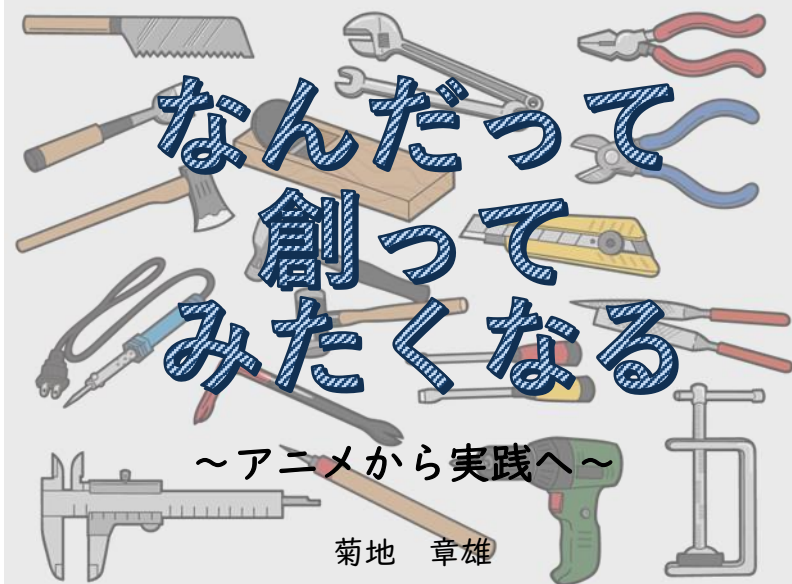
パーカー 4,422円 (税込)



Tシャツ 3,124円 (税込)



マグカップ 1,914円 (税込)



菊地 章雄

霞ヶ浦アカデミーの活動の中で、自分たちで創ってみるといふ精神があるような気がする。たぶんそれは、この地にある資源を使ってどのようになりに豊かに暮らしていくかというみんなの想いが反映されたものだと思う。

今回、そんな活動のヒントになりそうなアニメを3つ紹介してみる。

銀の匙 Silver Spoon

育てた豚でベーコンをつくるなど一次産業から加工までを高校生の視点で読むことが出来る。北海道の農業経営や、ばんえい競馬など独自の文化も楽しめる。

荒川弘さんが『週刊少年サンデー』（小学館）にて連載したマンガ。北海道の農業高等学校を舞台とした学園漫画。アニメはフジテレビにて2013年から2014年放映。また実写映画化もされている。

Dr.STONE

主人公の石神千空（いしがみしんくう）は高校生科学者。全人類が石化して約3700年後に目を覚ます。人類が消えて滅んだ世界で自力で文明を再建させていく。最初は石器や紐などを作っていくが、ストーリーが進むにつれてレーザーやコラ、電力や自動車など文明を進めていく。

『Dr.STONE』（ドクターストーン）は、原作：稲垣理一郎さん、作画：Boichiさんによるマンガ。『週刊少年ジャンプ』（集英社）にて2022年まで連載されていた。アニメは現在第3期まで放映されている。

本好きの下剋上

現代日本に暮らす本須麗乃（もとすらのの）は、念願である図書館への就職が決まった日に亡くなってしまふ。もっと多くの本を読みたかった、そんな未練を抱いた彼女は気が付くと異世界の幼女メインとしての体を持っていた。

物語の主な舞台となるのは、魔法の力を持つ貴族に支配される中世都市。本がなければ作れないという発想で紙やインクなどを作っていく。

『本好きの下剋上』（ほんずきのげこくじょう）は、香月美夜さんによる小説が原作。漫画化、アニメ化もされた。

編集後記

遅くなりましたが会報の編集が出来ました。葦舟世界大会でしばらく燃え尽きていたのだと思います。すいませんでした。

紙面では勝手に好きなアニメを3つ紹介しました。Dr.STONEは会員の笠原さんからオススメされて放送されたアニメを全話見ました。艇庫や葦舟、魚醬も作って楽しむ私たちはどれも楽しく見れるのではないのでしょうか（菊地章雄）。



2022年には国立科学博物館とコラボイベント（引用：文化庁プレスリリース）

発行 NPO法人霞ヶ浦アカデミー

発行日 2023年7月15日

事務所 茨城県行方市浜370番地1

ホームページ <https://k-acad.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/kasumigauraAC/>

メールアドレス kasumigaura.academy@gmail.com